

# 宇佐市のまち・ひと・しごと創生

「宇佐市人口ビジョン」

「宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

【ダイジェスト版】



大分県 宇佐市

# まち・ひと・しごと創生とは

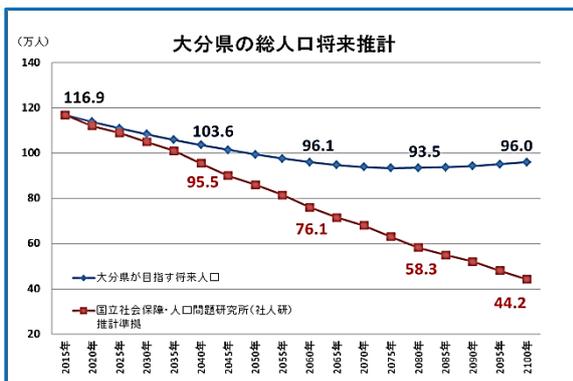
## 国の「まち・ひと・しごと創生」が目指すもの

長期ビジョン	<p><b>I. 人口減少問題の克服</b> 2060年に1億人程度の人口を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆人口減少の歯止め → 国民の希望が実現した場合の出生率=1.8</li> <li>◆「東京一極集中」の是正</li> </ul> <p><b>II. 成長力の確保</b> 2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持</p>
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方に仕事をつくり安心して働けるようにする（2020年までの5年間で30万人）</li> <li>2. 地方への新しいひとの流れをつくる（地方→東京圏 転入6万人減、転出4万人増）</li> <li>3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</li> </ol>

## 大分県の「まち・ひと・しごと創生」が目指すもの

人口ビジョン	<p>◆今後、急激に人口減少が進行（現状のままでの見通し）</p> <p>2015年:116.9万人 2040年:95.5万人 2060年:76.1万人 2100年:44.2万人</p> <p>◆自然増・社会増の取組が進めば人口減少に歯止めをかける</p> <p>自然増(合計特殊出生率)仮定値を2030年→2.0、2040年→2.3</p> <p>社会増仮定値を2020年に増減均衡、2025年以降社人研※推計値+1,000人程度</p>
--------	--

### 2100年(今世紀末)までには増加に転じ、100万人近い人口を維持



### 基本目標

- I. 人を大事にし、人を育てる
- II. 仕事をつくり、仕事を呼ぶ
- III. 地域を守り、地域を活性化する
- IV. 基盤を整え、発展を支える

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所のこと

## 宇佐市の「まち・ひと・しごと創生」が目指すもの

- ◎本市は、これまで「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指し、人口減少問題等に関わる施策を行ってきました。
- ◎今回、国、県の総合戦略と全面的に歩調を合わせ一体的な対応を行うため、宇佐市版総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、県と定住自立圏等の自治体との連携も図りながら、実効性のある地方創生の取組を進めていきます。

# 宇佐市人口ビジョン

## ビジョンの位置づけ

- ◎人口減少の克服と超高齢社会における効果的な施策を展開する基礎とします。
- ◎市民の皆さんと本市の人口の現状と人口問題に関する意識の共有を目指します。
- ◎目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示します。

## 対象期間

- ◎国の長期ビジョンや大分県の人口ビジョンの期間を踏まえ、2060年までとします。



## 宇佐市の人口の現状分析

### 【総人口の推移、近年の状況】

- ◎本市の人口は、高度経済成長期に大都市圏へ労働力が流出し、近年では減少のスピードは増し、今後はさらに加速すると推測されます。
- ◎出生数は減少が続き、死亡数は緩やかに増加傾向にあり、出生数に対する死亡数の数値は、近年約2倍に拡大しています。
- ◎転入、転出数は、企業等の影響により大きく差がある年もありますが、おおよそ均衡を保っています。

### 【合計特殊出生率の状況】

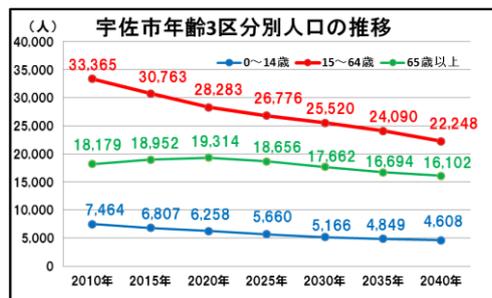
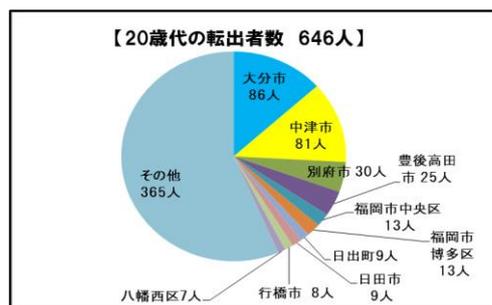
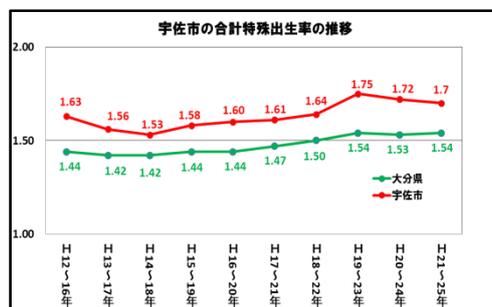
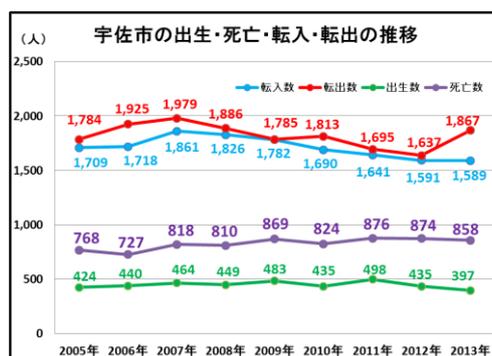
- ◎本市の合計特殊出生率は、県と比較して常に上回っており、近年は1.7を示しています。
- ◎市民アンケートの調査結果では、理想とする子どもの数が3人に対して、実状は2人と差があり、経済的負担や環境整備を望む声が多く挙がっています。

### 【年代別・地域間の人口移動の状況】

- ◎年代別の人口移動は、20～39歳の世代の転出が多く、大学等への進学や就職等のための移動と想定されます。
- ◎若者の転出先（20歳代）については、中津市や大分市への転出が全体の約4分の1を占めています。

## 人口の変化が将来に与える影響

- ◎人口減少や少子高齢化などによる人口の変化は、地域経済の縮小、労働力不足、日常生活に必要なサービスの低下、税収の減少、社会保障費（医療、年金、福祉、介護等）の増加など、多面的な影響を与えることが懸念されます。





## 目指すべき将来の方向

◎人口の自然増減と社会増減の両面からの取組みに特化し、これまで以上に取組みを進めることで、人口減少に歯止めをかけていきます。

## 人口の将来展望

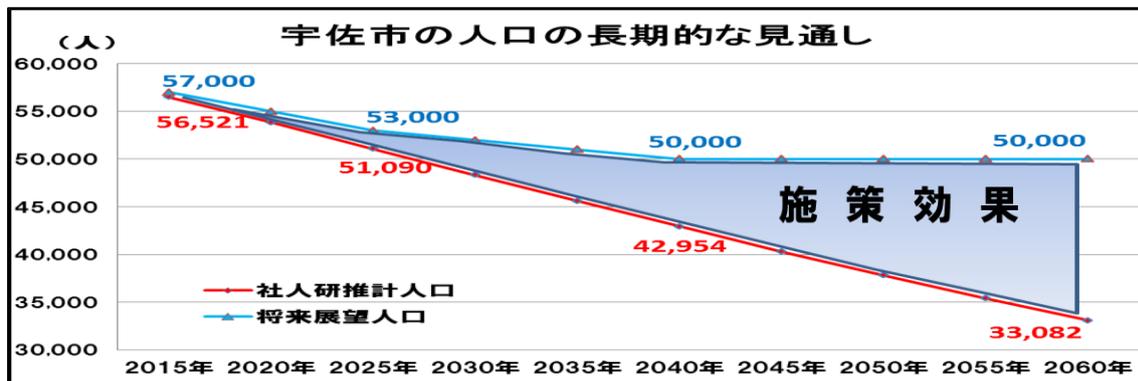
◎2025年:53,000人 ◎2040年:50,000人 ◎2060年:50,000人

### 宇佐市の合計特殊出生率仮定値

2030年に2.0程度 → 2040年に2.3程度(大分県準用)

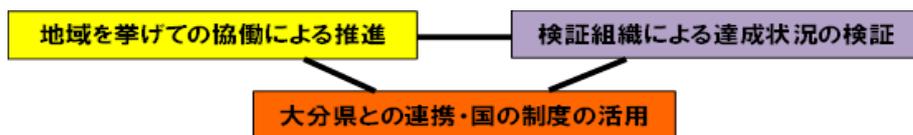
### 宇佐市の社会増仮定値

2020年までに増減均衡→2025年社人研※推計に50人程度(県目標1,000人→人口比約5%) + 市独自施策分50人上乘せし、100人/年を目標



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所のこと

## 総合戦略の推進にあたって



◎総合戦略を効果的・効率的に推進するため、行政のみならず、市民や地域関係団体、金融機関、民間事業者などとの協働による取組み、それぞれの分野や施策における課題や目標を共有化し、推進体制づくりや連携の強化などを図ります。

◎基本目標の達成に向けて、重要業績評価指標（KPI）を設定し、（Plan：計画）、（Do：実施）、（Check：評価）、（Action：見直し）を行い、PDCAサイクルの構築を行っていきます。



# 宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015～2019 年度)

◎総合戦略の策定にあたっては、宇佐市人口ビジョンの目指すべき将来の方向を踏まえ、4つの基本目標を設定するとともに、基本目標ごとの数値目標を設定しています。

◎事業の展開にあたっては、第二次宇佐市総合計画「前期基本計画」より、「まち・ひと・しごと創生」に関連する施策を重点的な戦略として策定し、各事業の推進を図ります。

## 総合戦略の全体像

### I. 安定した雇用を創出する

#### 基本目標数値

ハローワーク宇佐管内の  
就職件数 →  
5年間の累計で300人増

### II. 新しいひとの流れをつくる

#### 基本目標数値

人口の社会増減 →  
H32に県に準じて増減均衡  
+市独自施策により  
5年間で250人増

### III. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 基本目標数値

合計特殊出生率  
1.7(H26) → 1.8(H32)  
→ 2.0(H42)

### IV. 地域をつくり、地域と地域を連携する

#### 基本目標数値

宇佐市を住みやすいところと  
思う市民の割合71%(H25)  
→ 80%(H30)以上

## 主要施策

- 6次産業化の推進
- 農業の担い手の育成
- 漁業推進体制の強化
- 商業関係団体との連携強化
- 林産物の需要拡大・生産支援
- 人材育成、商店街の活性化
- 技術・技能習得機会の充実
- 地場産業の育成
- 企業誘致の推進
- 働きやすい環境づくり

- 働きやすい環境づくり
- 住みやすい環境づくり
- 情報発信の強化
- 受け入れ体制の強化
- 観光資源の保護・保全と再発見・強化
- 人材・組織の強化
- 宇佐市平和ミュージアムの建設
- 文化財の整備と活用
- 郷土資料の収集と保存

- 母子保健事業の充実
- 支援体制の充実
- 保育の充実
- 健全育成の充実
- 育てる環境の整備
- 読書活動の推進
- 地域資源の活用
- 郷土愛の醸成
- 結ぶ環境の創出
- 食育の推進
- 高等学校教育の充実
- 教育内容の充実

- 公共交通体系の構築
- 地域コミュニティ組織の設立
- 連携の強化
- コミュニティ活動の活性化
- 介護予防・認知症予防対策の充実
- 生きがい対策の充実
- 健康増進事業の推進
- 防災体制の充実
- 火災予防等の推進
- 介護基盤の整備

## I. 安定した雇用を創出する

主な重要業績評価指標(KPI) ●農業参入企業数をH31までに累計で30企業にします。

●企業誘致件数(進出、増設)H31までに累計で20件にします。

◎6次産業化の推進による付加価値の創出や販路拡大、生産基盤の整備を図るとともに、新規就農者や企業参入への支援、商業者の起業支援等の支援体制の充実を図ります。

◎雇用の創出や企業誘致について、民間と一体となった誘致活動の推進や地域産業の活性化等、将来に向けて安定的な『雇用の量』の確保・拡大に繋がります。

### 下 栢 田 工 業 団 地



#### ■具体的な取組み

◎6次産業を担う人づくり【農業】

◎宇佐ブランド認証品ネット販売【農業】

◎宇佐産材利用促進【林業】

◎漁業再生プロジェクトによる支援【水産業】

◎起業・創業アシスト【商業】

◎企業誘致支援【工業】

## II. 新しいひとの流れをつくる

主な重要業績評価指標(KPI)●観光入込数をH31には242万人にします。

●移住施策によるUIターン者数をH31まで累計で500名にします。

◎宇佐神宮をはじめ、歴史や文化、自然、グルメ等の多様な観光資源、東九州自動車道の開通によるアクセスの向上や宇佐からあげを核とした食観光推進事業やフィルムコミッション事業の実施等による知名度の向上を図ります。

◎情報発信の強化や観光客の交流満足度向上に向けた受け入れ体制の強化、観光地としての魅力向上に向けた観光資源の保護・保全と再発見・強化、人材・組織の強化を推進します。

### 改修した宇佐地区横町通り



#### ■具体的な取組み

◎USA・人材UIターン雇用拡大の推進【移住】

◎「うさ暮らし」移住満足度100%へ【移住】

◎東九州観光プロモーション【観光】

◎宿泊客誘致促進【観光】

◎平和ミュージアム構想の推進【文化財】

### Ⅲ. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

主な重要業績評価指標(KPI)●出生数を H31 に 500 人にします。

●婚活施策による婚姻件数を H31 まで累計で 20 件にします。

○少子高齢化社会や核家族化の進行、過疎化、高齢化による小規模集落の形成等の課題の中で、子供を産み育てたいと言う人の夢や希望が叶うような社会を実現します。

○行政をはじめ、家庭、地域、企業、子育てに関わる施設がそれぞれの役割を果たしながら、連携・協力を図り、社会全体で子ども・子育てを支援する取組みを推進します。

#### うさ児童館の様子



#### ■具体的な取組み

- ◎妊婦乳幼児の健康診査助成【妊娠・出産】
- ◎不妊治療費の助成【妊娠・出産】
- ◎多子世帯保育料の軽減【子育て】
- ◎ひとり親家庭等結婚祝金【子育て】
- ◎高校生短期留学支援【教育】
- ◎各種教育支援員の配置【教育】
- ◎宇佐市ふるさと応援基金【定住促進】

### Ⅳ. 地域をつくり、地域と地域を連携する

主な重要業績評価指標(KPI)●地域コミュニティ組織の設立数を H31 までに 20 組織にします。

●健康寿命を H31 までに県平均以上にします。

○中山間地域等において地域の絆で人々が心豊かに生活できる安全・安心な環境の確保に向けた取組みを支援します。

○まちのコンパクト化と公共交通網の再構築をはじめ、交通ネットワーク形成の推進や高齢化・単身化への対応、災害への備えなど活気あふれる「まちの創生」の実現を目指します。

#### 介護予防教室の様子



#### ■具体的な取組み

- ◎路線バスの維持及び改善【公共交通】
- ◎小さな拠点づくり【地域コミュニティ】
- ◎家族支え合い住宅建設奨励金【定住促進】
- ◎転倒予防・認知症予防の推進【高齢者福祉】
- ◎健康チャレンジの推進【健康増進】
- ◎病診連携、医療と介護の連携の推進【定住自立圏の推進】



---

**編集・発行**

**宇佐市 総務部 企画財政課**

**〒879-0492 大分県宇佐市大字上田 1030 番地の1**

**TEL 0978-32-1111**

**FAX 0978-32-2331**

**e-mail [kikaku05@city.usa.oita.jp](mailto:kikaku05@city.usa.oita.jp)**